

総会はじめ関連の会合に海部俊樹会長、森山真弓会長代行、日下部禧代子理事長らが今までの政治上の立場を離れて熱心に毎回出席しておられることは、まことに心強い。さて前年度一般会務報告のかで特筆すべきは、世界連邦日本大会にW.F.M.-I.G.P.ウリアム・ペイス専務理事を招き講演をしてもらつたことである。同専務理事は「国際刑事裁判所」や「保護する責

世界連邦運動協会は、本部と支部の両方で活動を進めている。どちらの活動も重要であるが、本部の活動に支部から参加する人数が限られてるので、今回の本部定例総会（5月12日）の内容をお伝えし、今後の支部活動との連携を探っていきた。



グローバル・ガバナンス高める

任」などによつて、グローバル・ガバナンスを一層高めながら世界連邦を目指すことを力を説された。また、今年度はWFMの世界大会が7月にカナダ・ウイニペグで開催されるので、それを契機として更

た可能性を探求するため、次の3点から理論的研究を行つていく。

① 欧州連合・東南アジア諸国連合などの地域統合の進捗状況の分析、あるいは提起されている各種の世界連邦憲章草案の分析などを通して世界連邦建設に向けた条

世界連邦石川

題字は 世界連邦石川県連会長
杉山 学太郎

発行所
世界連邦石川編集室
沢市疋田町八302
千坂保育園
県連合会事務局内
076-258-1321

発行人
三口哲夫

最近の世界連邦運動の動向と今後の展望

世界連邦運動協会執行理事
石川県連理事長
平口 哲夫

- ②国連安全保障理事会をはじめとする国連改革・国際司法裁判所や国際刑事裁判所の機能拡大など、既存の国連システムを世界連邦の制度に一層近づける方策の研究を行う。
- ③地球規模の課題を克服し世

世界連邦の組織について
は、会員数の減少や全体の支
部組織の減もあるが、東京地
区では30代40代の若い人たち
の新しい組織が三つも生まれ
ている。石川県でも学生会員
制度を作つたのだから、これ
から働きかけをしていく必要
がある。

政治活動については昨年から、野田総理に直接働きかけをしている。元・現国會議員との連携の上で政府に働きかけることができるは、世界連邦運動にとって重要な一つである。

界連邦の条件整備を円滑にするため、国際連帯（取り引き）税、自然災害に対応する国際救済組織、原子力・エネルギーの国際管理制度、沖縄の基地問題をはじめとする安全保障政策、ワールド・エシックス・フォーラム（国連大学）、保護する責任、国連気象変動防止条約をはじめとする環境条約といった、現在国際社会で議論されている項目を精査・研究する。

財務については、リーマン・ショック以降、本部の財務状況は非常に厳しい状況が続いている。事務所移転やニュースレターの発行回数減など可能な限りの経費削減をはかりながら、なお有志による登録寄付も続けなければならぬ状況なので、皆様方のご理解とご支援をお願いしたい。（講演要旨＝文責在記者）

ンクールの作品を見ている
と、世界連邦という言葉がほん
とんど出てこない。そのた
め、事前にこの「ジュニア新
聞」などを配布して実施した
方がよいのではないか。

世界連邦運動協会石川県連合会
会長 杉山栄太郎

暑中お見舞い
申し上げます

暑中お見舞い
株式会社 石野製作所
申し上げます